

平成19年度当初予算要求通知のポイント

平成18年9月15日
千葉県総務部財政課
(043-223-2076)

1 平成19年度の財政見通し

(1) 歳入について

景気の回復により県税収入は増収が期待できますが、いわゆる骨太の方針2006では、地方税と地方交付税等をあわせた一般財源総額を確保するとされていることなどから、せっかくの県税増収効果が、地方交付税関連収入の減額によって打ち消されることが想定され、歳入全体として伸びを見込むことは困難な状況です。

(2) 歳出について

警察官の増員や退職手当の急増による人件費の増加、高齢化の進展等や制度改正による社会保障費の増加により、引き続き義務的経費が大幅に増加します。

このため、景気の回復により県税が増収となるにもかかわらず、引き続き厳しい財政状況が続くものと見込まれます。

2 予算編成の基本的考え方

厳しい財政状況の中でも、千葉県の持続的な発展を支える施策を展開していくために、平成18年度当初予算編成に引き続き、

各部局の自主的な見直しを推進するための「枠配分内の要求」と、
枠配分内要求では対応できない、今後の県政を見据えた新規事業・重点
事業に対応するための「枠外要求」を併用する

「**枠配分・枠外要求併用方式**」による予算編成を行うこととします。

編成にあたっては、

事業の選択と集中

多様な主体との「連携と協働」

総合的、横断的な施策の展開

徹底した歳入の確保（財源確保としての国事業の活用等を含む）

により、予算の質的転換を一層推進します。

3 経費区分・要求基準について

経費区分は、「義務的経費」「戦略プロジェクト経費」「投資枠経費」「その他の政策枠経費」の4区分とします。

- (1) 義務的経費は、各部局で積算した所要額を要求することとします。
- (2) 戦略プロジェクト経費については、総合企画部から別途指示があります。
- (3) 投資枠経費、その他の政策枠経費については、各部局での質的転換による行財政改革努力を進めるため、平成18年度当初予算額（一般財源ベース）の93%で枠配分し、各部局は配分枠の範囲内で要求することとします。
〔枠配分内要求〕
- (4) 投資枠経費、その他の政策枠経費については、県政のダイナミズムを確保し、各部局の積極的な施策立案を進めていくため、枠外要求ができることとします。
各部局において徹底した見直しを行った上で、なお枠配分内では対応できない新規事業・重点事業がある場合には、枠配分額の10%を上限に要求が可能です。
〔枠配分内要求と併せた要求全体は対前年度102%まで可能となります〕
- (5) 義務的経費についても、各部局において、既存施設の廃止や負担協定の改正などの抜本的な見直しに努めることとします。見直しによって生じる節減分については、投資枠経費・その他の政策枠経費へ転用することができます。
また、投資枠経費とその他の政策枠経費の間の転用も可能とします。

4 要求書の提出期限

平成18年10月13日（金）

< 19年度当初予算編成のイメージ >

多くの選択肢を比較検討した
うえでの「**選択と集中**」

義務的経費は所要額を要求
戦略プロジェクトは
総合企画部で今後調整予定

県政のダイナミズムを確保し、各部局の
積極的な施策立案を促すため、枠配分額
の10%を上限に（対前年度102%
まで）**枠外要求**が可能

